



2021年4月30日

各位

会社名 川崎近海汽船株式会社
 (コード番号 9179 東証第2部)
 代表者名 代表取締役社長 久下 豊
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 佐野 秀広
 (TEL:050-3821-1334)

特別損失の計上および2021年3月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期において、固定資産の減損処理を行い、特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。また、2021年1月29日に公表した2021年3月期通期連結業績予想と実績値との差異を併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

当社グループが保有する船舶について、現在の事業環境を踏まえ将来の回収可能性を検討した結果、一部の船舶の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、2021年3月期通期決算において7億27百万円を固定資産の減損損失として計上いたします。

2. 2021年3月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

① 差異の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	36,700	250	0	0	0.00
今回実績値 (B)	37,059	404	187	△112	△38.47
増減額 (B-A)	359	154	187	△112	—
増減率 (%)	1.0	61.7	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期通期)	44,337	1,913	1,907	1,370	466.90

② 差異が生じた理由

通期連結業績につきましては、第4四半期(1-3月)で、近海部門では想定以上に市況が好転したこと、また内航部門でもコロナ禍の影響が継続しつつも、想定を上回る荷動きとなったことなどから、営業利益は1億54百万円、経常利益は1億87百万円の改善となり、加えて投資有価証券売却益の計上などもありましたが、上記の特別損失の発生により、親会社株主に帰属する当期純損失は1億12百万円となりました。

以上